

番外！綿畑づくり（4月20日）活動報告

4月20日（日）新しい綿畑の土づくりをしました。

参加者は、こども4人、保護者2人、サポーター1人、事務局2人の合計9人でした。

少し前に草刈りを行い、軽くほぐしておいた土に、冬の里山活動の時に運んだ落ち葉堆肥をのせました。さらに、かせやまの森創造社の大塚さんが運んでおいてくれた土を上積み上げていきました。

お母様方や就学前の弟さん、妹さんたちも一緒にがんばってくれて、1時間半ほどの作業でした。すっかり体力・気力を使い切りました。もう少し準備していただいた土があるので、また暇を見つけて綿畑の環境を整えていこうと思います。



発足式・茶摘み（5月6日）の活動報告

5月6日（祝・火）発足式と緑茶づくりを行いました。

参加者はこども8人、保護者2人、サポーター4人、事務局5人の合計19人でした。

まずは、お茶つみ体験。あいにくの小雨でしたが、やわらかく黄緑に輝く新芽をみんな一生懸命つみました。30分余りで緑茶にして試飲するに十分な量つむことができました。

市役所に帰ってきて、発足式では、市長さんをお迎えして昨年がんばって参加した人の表彰を行いました。今年度の活動紹介やメンバーの自己紹介をしました。

午後からは、緑茶づくり。まず電子レンジで高温にして緑色をとどめる殺青。その後はホットプレートで温めながら揉んで、葉の中の水分を抜いていく揉捻作業。揉んでいくにつれ段々ねばねばした水分が出ていき、葉がよれて細くなるとともに温めた時にお茶らしい香りが広がって、「葉っぱ」から「お茶」へ変化していくのがよく分かりました。出来たお茶で、早速試飲。グループごとのお茶を飲み比べると、同じ葉なのに渋みや甘味、香りが少しずつ違っており、個性が出ていて手作りの良さを感じました。どのグループもおいしかったです。大成功でした。



川の水質・水生昆虫調査（6月8日）活動報告

6月8日（日）鹿背山にて川の水質・水生生物調査を行いました。

参加者はこども9人、保護者7人、サポーター2人、事務局3人、中嶋先生の合計22人でした。

水質調査は全国一斉の身近な水環境調査の参加活動で、中切川のCODとpHをパックテストを用いて測りました。今年は雨による濁りもなくCODは「3」となかなかきれいな値が出ました。

水生生物の観察は、午前中に鹿背山倶楽部さんのビオトープ池で、今まで見なかったアカネトンボの小さなヤゴが見つかりました。昨年から鹿背山倶楽部さんがアメリカザリガニの捕獲を続けてこられたおかげかもしれません。

午後からは中切川の生き物観察、いつも通りのサワガニやヨコエビ、ブユなどに加え、昨年見つからなかったヒラタカゲロウも健在を確認でき、きれいな水の指標生物たちがたくさん見つかりました。



綿の植え付け（6月22日）活動報告

6月22日（日）、それぞれのおうちで、発足式の日から種まきをして育ててくれた綿の苗を鹿背山の綿畑に植え付けをしました。

参加者はこども3人、保護者1人、サポーター2人、事務局2人の合計8人でした。

2月の里山活動で集めた落ち葉をいれた土を畝にして、30株あまりを植えました。

季節外れの暑さの中、伸びた雑草たちの間からは小さなカマキリやバッタ、クモ、土の中には大小さまざまなミミズたちが姿を見せてくれました。

明日からは梅雨空復活の予報。雨を期待しつつ、明日まで頑張れるようにしっかり苗に水をかけておきました。しっかり根付いて大きく育ててほしいですね。

8月頃は花、10月には実もはじけるはず、近くに来たときは観察してね。



ふすま紙工作（8月3日）活動報告

8月3日（日）、州見台のガーデンモール木津川さんとの共同企画で、

「ふすま紙工作教室」を開催しました。

残念ながら、エコクラブのこどもたちの参加はありませんでしたが、サポーター3人、事務局3人、田中智子先生の合計7人で、ふすま紙を使った小物入れ作りを行いました。

買い物に来ていた親子連れや中には大人だけの方も興味を持ってきて、工作の参加者は25人でした。参加者には、布張りのふすま紙の9割が木津川市産であることや、こどもエコクラブの活動を伝えることができました。

布張りのふすま紙が地場産業と知って驚いたり紙の丈夫さを感じてもらえたり、エコクラブのメンバーにもなってくれた方もあり、よい広報活動になったと思います。



体験！木津川ジュニアレンジャー木津川を知ろう！

（9月23日）活動報告

9月23日（火・祝）河川レンジャーさんを講師にお迎えして、「体験！木津川ジュニアレンジャーになろう」と称し木津川について学習・体験を行いました。参加者はこども6人（エコクラブ4，河川レンジャー公募2）、講師の淀川管内河川レンジャー長浜さん、中野さん、奥平さん、エコクラブサポーター3人、事務局3人（エコクラブ2，河川レンジャー1）の合計15人でした。

午前中は、木津川についてのお話を聞いたり、木津川橋から木津川を観察したりしました。午後からは、実際に木津川に入って、まずは生き物調査。小エビやヤゴ、小魚たちを網で捕って観察しました。今年は昨年より水量が多く、体長10cm前後のオイカワやカマツカ、チチブなども捕まえることができました。水生昆虫では、コオニヤンマのヤゴやカワゲラなど比較的水質のきれいな指標生物が見つかりました。その後最大のお楽しみ、「川流れ体験」を行いました。ヘルメットにライフジャケットをきちんと身に着けて、つま先を下流に向けてあお向けで川の流れにのって流される体験。ゆったりと体を運んでくれる流れは心地よく、水面近くで流れる景色はまた違って見えても楽しい。ただ何もせず流れに任せていると10mもいかないうちに岸へと吸い寄せられる流れの不思議も体感出来ました。やがて、行きたい方向へ早く進みたいこどもたちは繰り返すうち最後は泳いで遊び、全身で木津川に親しみ、木津川について知ることができました。



木津川水辺のごみ見つけ！（11月2日）活動報告

11月2日（日）、木津川を美しくする会木津川支部主催で行われた木津川一斉清掃にあわせて、「木津川水辺のごみ見つけ」を実施しました。この日の参加者は14名で、残念ながら、こどもエコクラブのこどもたちの参加はありませんでしたが、サポーター1人、事務局1人が参加しました。

前々日の雨あがりで地面がぬかるんでいましたが、ちょうど良いぐらいのお天気で、木津川河川敷や堤防でゴミ拾いを1時間ほど行いました。集まったゴミの量は45ℓサイズのごみ袋で17袋、中には家庭ゴミの不法投棄もありました。見つかったペットボトルの数は80本、カップ容器とレジ袋は分別できず正確な数は分かりませんでした。川辺のごみ拾いは、川へ流れ込むゴミを防ぐ取り組みとしても有効ですが、ゴミ拾いをしてもほとんどゴミが見つからない日が早く来てほしいものです。



染色教室（1月18日）活動報告

年が明けて初めての子どもエコクラブの活動で染色教室をいずみホールでしました。給食センターで出た玉ねぎの皮と、庭木の剪定で出た枝の2種類で染めをしました。参加者はこども3人、保護者1人、サポーター2人、事務局2人と田中智子先生の合計9人でした。

お手伝いの方が多かったので、いつもは1種類の媒染液を使いますが、今回は、アルミ（みょうばん）、鉄、銅の3種類を用意しました。

子供達はエコバッグに割り箸や、輪ゴム、洗濯バサミ、ボタンなどを使って絞り模様を作り染液につけて、待つこと20分。

その間に、襖紙の切れ端を使って工作をし、途中、染液からエコバッグを取り上げて、今度は媒染液につけました。

ここでも待つこと20分。工作の続きをして素敵な小箱が出来上がりました。

媒染液から取り上げて、模様作りに使ったものを全てはずして、洗うと素敵な模様があらわれました。ちょうど参加者のこども3人が違う媒染を選んでくれたので、それぞれが違う色に。同じもので染めたのに色が違うのでびっくり。素敵なエコバッグが出来上がりました。

初めて冬に染色をしたのですが、染料を煮だしたり、媒染液でお湯を使ったりするのでポカポカあったかい活動でした。



冬の里山活動体験（2月15日）活動報告

2月15日（日）鹿背山にて冬の里山活動を行いました。

参加者はこども7人、保護者3人、サポーター4人、事務局3人、川本さん、藤井さん、加藤さん3人の合計20人でした。

今回は以前職員さんが作ってくれた「火おこし器」を使って、火おこし実験をしました。横木を上下させて、ひもでつないだ軸棒を回転させるのですが、なかなかうまく続けられず、軸がずれて一点を集中的に摩擦できませんでした。それでも、こどもたち（大人も）何度もチャレンジし、少し煙が出るくらいはできました。この先に火が起きる世界がありそうだと感じられたようです。

そのあとは、地元野菜中心の豚汁と焼き芋を作って食べました。大鍋の豚汁はおいしく、焼き芋も甘く柔らかくうまくできました。春のような気温の中、長いササの枝で遊んだり、木の椅子に腰かけておしゃべりしたり、ゆったりした時間を楽しんだ後、最後に整備のお手伝いをしました。伸びたササを刈り、落ち葉を集めて堆肥場へ。

今年度はなかなか里山活動ができなかったため、より一層、里山の自然が元気をくれることを感じられたのではないのでしょうか。



わくわくマリンバコンサート（3月15日）活動報告

3月15日（日）わくわくマリンバコンサートを行いました。

参加者は、こども5人、保護者3人、サポーター3人、事務局2人、マリンバ奏者の大背戸亜矢様、ピアノ伴奏者の南敦子様合計15人でした。

講師にマリンバ奏者の大背戸亜矢先生をお迎えして、まずは、自分たちの楽器作りから取りかかりました。先生に教わって、お総菜など入っていたプラ容器やペットボトルなどの捨てる前の容器に、木の実やいらなくなったボタンなどを入れて、オリジナル楽器を作りました。入れるものや振り方で、いろいろ違った音を出せることも体感させてもらいました。

そのあと、マリンバのすてきな演奏を聴かせてもらいました。手拍子や足踏みで演奏に加わったり、自分たちの作った楽器と一緒に演奏したりと、体いっぱい使って音楽を楽しませてもらいました。

